



おめでとう！中村 肇さん  
5回目の長浜市展入選

「できること」が増えるより、「楽しめること」が増えるのが、いい人生。  
(斎藤茂太)

広報

こほくかい

秋号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)  
○住所／滋賀県長浜市富田町431-5

○発行者／北野 憲一  
○発行日／平成26年10月20日



## 平成27年度採用予定者 内定辞令交付式・交流会開催さる!

秋晴れの10月1日、法人主催による平成27年4月1日採用予定者内定辞令交付式と交流会が、北びわこホテル住文（グラツツエ）にて行われました。当日は、採用予定者の11名全員が出席され、北野理事長より内定書が授与されました。皆さん、やや緊張の面持ちでしたが、その後の交流会ではなごやかに先輩職員達との仕事上の様々な話題で盛り上がり、4月からの仕事への期待感を一層ふくらました。また応対した職員は、フレッシュな皆さんとの交流により、気持ちも新たに各職場の振り返りができ、とても意義のあるひとときを過ごすことができました。

湖北まこも 南部さやか

### 苦情解決のための第三者委員の紹介

福祉サービスに関する苦情は、本来当事者である利用者と事業者との間で解決すべきものです。このため、苦情解決にあたりできる限り社会性や客觀性を確保し、利用者の立場や特性に十分配慮した適切な対応を推進するため、福祉サービスを提供する事業者において、苦情解決の仕組みを導入することになっています。

このため湖北会では、福祉サービスに関する苦情・要望に対し、適切に対応するため「苦情相談受付担当者」および「苦情解決責任者」を配置しているほか、第三者委員（外部委員）を設置し、種々ご協力をいただきながら利用者個人の権利擁護と福祉サービスの向上に、引き続き取り組んでいきます。

なお現在、当法人がお願いしています第三者委員の皆さんは、次の4名の方々です。

(H26.7.9以降)

氏名	所属等	担当地区
林 幸男	長浜市社協職員	長浜市内に所在する事業所
鳴津 俊治	老健琵琶職員	長浜市内に所在する事業所
長尾 龍秀	元湖北会評議員	米原市内に所在する事業所
廣部 里美	米原市社協職員	米原市内に所在する事業所

(敬称略：順不同)



# 湖北のアール・ブリュット展2014に法人利用者多数出展



第28回長浜芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマの関連事業として、今年も『湖北のアール・ブリュット展2014』が、曳山博物館伝承スタジオを会場に、10月の4日(土)5日(日)の2日間にわたり開催されました。地元という利点を生かし、湖北会からは、ライフまいばら・いぶきやま・湖北まこも・あそしあの利用者の斬新で意欲的な素晴らしい作品群が多数出展されました。ちなみに、湖北のアール・ブリュット展2014のポスター・チラシ表紙に採用された作品は、いぶきやまの山田哲史さんの作です。

今回の出展に向けて、各事業所の利用者は、生活支援員の支援を受けながら、精一杯思い思いの作品を完成させ、創作活動の素晴らしさを堪能することができました。各事業所では、利用者の皆さん的生活意欲の高まりに大きな効果があることから、今後も支援プログラムの中で、創作活動を積極的に取り入れていきます。

## あそしあの創作活動

ここで、「あそしあ」の創作活動を紹介させていただきます。「あそしあ」の創作活動は、主に3つに分けられます。1つ目は、日中活動の中で行っているもの、2つ目は、法人内の活動に参加しているもの、3つ目は、月1回先生に来て頂いて行うアートサポートです。

アートサポートは、メンバーを固定して継続的な創作活動を提供できるようにしており、先生が来て下さることを楽しみにされている利用者さんも多く、先生の提案で多様な画材を用いたり、絵だけでなく立体を制作したりと、利用者さん一人ひとりに合ったものをうまく引き出して下さいます。また、継続的に行うことでの絵柄が変化された方がおられたり、多様な画材を用いることで絵の雰囲気が変わる方もおられたりと、ほんとうに驚くことばかりです。日中活動も、このように展望が開けるよう仕組みを作つていければと思っています。

また、「あそしあ」では各地で開催される展示会に参加させてもらったり、独自で作品展を行つたりしています。今年は、10月の‘湖北のアール・ブリュット展’と11月の‘滋賀県施設合同企画展’に参加します。そして、独自の作品展では、10月に‘お寺DEアート’を開催し、2月には‘あそしあ展’を開催予定です。

私は、アートのことを勉強したわけでも、特に詳しいわけでもありませんが、「あそしあ」で創作活動に参加させていただき、展示会や作品展への参加を通して、多くのことを学ばせていただきました。

つまり、作品のレベルを競うことだけではなく、これは先輩の受け売りですが、「作品を出して、そこに利用者さんが訪れる機会になれば良い」と私も最近思うようになりました。利用者さんの余暇活動の広がり、そして社会参加の手応え(実感)が一番だと思っています。

あそしあ 支援員 田邊恵里佳



# 研修報告

## 虐待防止研修

9月12日に副サービス管理責任者とリーダーを対象とした研修を開催しました。昨年度までは、法人職員全体で講義中心に虐待防止について学んできましたが、今回は自分たちの職場で虐待の芽を摘んでいくためにどうしていけばいいのかを、具体的に考える演習を中心とした参加型の研修としました。

日ごろのケアでおかしいと感じることを取り上げ、どうすればなくすことができるのか、改善するために何が必要なのか等を話し合いました。法人内で同じ立場にある職員同士の意見交換は、とても有意義だったとの感想をいただいています。

講師のお話にあった「虐待を防止することがそもそも仕事ではなく、支援の質の向上を目指して取り組んでいくことが虐待の防止にもつながっていく。」という言葉に、私たちの仕事の意味をあらためて再確認させていただきました。



## ライフまいばら事業所内研修

○ 研修目的 ○ ①専門性・資質の向上 ②サービスの質の向上 ③意識の向上

○ 講 師 ○ 武田康晴先生(京都華頂大学 現代家政学部 准教授)

○ 講義内容 ○ 第1回 平成26年4月22日(火) 18:00~

「ソーシャルワークの基礎～「支援」とは何か～」

第2回 平成26年5月20日(火) 18:00~

「ソーシャルワークの基礎(2)～視点・価値の転換～」

第3回 平成26年6月17日(火) 18:00~

「個別支援計画の様式による演習」

今回の研修は、滋賀県社会福祉協議会の「職場内研修支援事業」を利用し、3回連続で開催しました。

この研修には、事業所職員だけでなく、法人内の他の事業所の職員など30名の職員が受講し、仕事が終わってからでしたが、真剣なまなざしで聞き入る姿が見られました。

武田先生は、色々な演習を研修に取り入れながら、ただ単に聞くだけでなく積極的に職員が参加できる内容にしていただきました。

この3日間、遠いところからおかつ遅い時間に来ていただいた武田先生にお礼申し上げます。

# 長浜あざいあっぱれ祭り出場 (チーム：スマイルCHA-CHA)

ふくらの森では、創作活動のひとつに“よさこい”があります。今回3年ぶりに9月6日に開催された「長浜あざいあっぱれ祭り」にスマイルCHA-CHAが出場しました。今回出場をめざして、昨年春より森田先生・中村先生のご指導のもと振付けを反復練習してきました。会場でのリハーサルはなく、言わばぶっつけ本番の演舞となりましたが、みんなの気持ちがひとつになり、懸命に踊りきることができました。日ごろの練習の成果を見ていただく機会となり、また他のチームの踊りを見ることもでき、皆さんとても貴重な経験になったのではないかと思います。

利用者さんの活き活きと踊る姿を目のあたりにし、目標・目的を掲げて取り組むことはとても大事なことだとあらためて感じました。



## 第28回 湖北しょうがい者 スポーツカーニバル



9月19日(金)に長浜ドームにて湖北しょうがい者スポーツカーニバルが開催されました。他法人も含めた湖北地域の13か所の福祉事業所からの利用者が参加。今回は「あそしあ」が実行委員会事務局となり、春から各事業所の委員らと準備を進めての開催となりました。今大会は、恒例の風船バレー、施設対抗リレー、がんばらんば体操に加え、久々に復活した競技や、初となる江州音頭など盛りだくさんの内容となり、みなさん笑顔いっぱいに楽しんでおられました。

## 実りの秋到来

「5月の初旬に植えたサツマイモの苗も、夏の天候不順もなく乗り越え、おかげさまで収穫の時期を迎えるました。」と、いかにも湖北まこもが育てて収穫したように思えますが、実は植え付けから収穫までの管理は、シルバー人材センターから来ていただいている赤井力さんにお願いしています。毎年立派なサツマイモに育てていただき、感謝しています。というわけで、今年も見事なサツマイモを収穫しました。採れたサツマイモは、じっくりねかせ施設での食事の食材に使います。10月には、毎年利用者みんなで調理をして豚汁を作ります。サツマイモの甘さが引き立ち、体の芯まで温まる豚汁は、2杯目、3杯目とおかわりする利用者もいて大好評です。調理する楽しみと食する楽しみで今から待ち遠しいです。

また、熟成されたサツマイモの販売もしています。よろしければ、皆様ご賞味下さい。そして利用者みんなで作る豚汁も、是非試食に来て下さい。お待ちしています。



# 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人湖北会後援会の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。

## 1.寄付金

2.団体会員 一口 5,000円  
3.個人会員 一口 1,000円

郵便振替口座

00950-8-232378

名義 社会福祉法人湖北会後援会

## ■後援会へのご寄付 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

釣部 博之 (故人)

## ■後援会入会と会費納入 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(株)山正	ワークスさばてん家族会	ライフまいばら家族会
(株)ドリム経営財務 和泉大介	湖北まこも家族会	いぶきやま家族会
MYYUKI (株)	米蔵國友	

赤井 力	東 美幸	伊香 玲子	池田 猛治	伊藤 賢隆	伊藤 隆	岩根 京子
岩崎 俊男	大岩 憲市	大岡 賢至	大塚 浩司	大林由紀美	小川 洋一	川合 行雄
川崎 一三	川崎 八郎	川地 久美	川幡 正子	神田 航平	岸田 惣吾	木崎かおり
北川賢太郎	北川 祐樹	北川 夕子	北野 憲一	北村真佐美	國友 茂一	國友 茂弘
熊谷みよ子	佐野 丈広	佐野 実	嶋崎 雅之	清水香代子	清水 憲一	清水 朋子
清水 久子	清水 孫幸	清水 正幸	清水 光夫	清水 文隆	城楽 元一	杉本 金夫
末松 光子	千田 憲一	曾我 英男	高木 真次	高木 正己	高橋 静生	高畑 久男
田中 繁子	谷口 慶祐	谷利 正博	塚腰 武男	土川 千秋	土田 節子	中川ちづ子
中谷 進	西川 清子	西村 精祐	野崎 吉雄	橋本 光志	服部 美穂	馬場 利和
早瀬 信子	速水 行子	東野 一郎	日比野仁志	福永 洋二	藤居 貴之	藤田 千秋
藤田ひさ子	細溝よし子	前川 博之	前田 正史	巻幡 和正	松井ヨシエ	松川 賢
眞野美佐子	馬渕 英幸	宮本 恵司	宮本 晴美	薮田 敏雄	山口美穂子	山口 三郎
山本喜一朗	山崎 善雄	山田 素	山田 守克	吉井 優子	領家岩太郎	湧口 正男
匿名3名						

(敬称略：アイウオ才順)

新顔登場

## 『新人職員紹介』



湖北まこも  
岸本 拓真

- 趣味 ゴルフ 映画鑑賞
- 特技 バスケットボール
- 長所 何事もポジティブなこと
- 短所 勢いに任してしまう所

「湖北まこも」の中活動は、毎日午前に散歩をしたのち、作業を中心とした活動を行っています。午後からは、外出などをメインにワクワク感を持ってもらう活動に取り組んでいます。日々、利用者さんに笑顔あふれるような支援を目指します。



あそしあ 久留 直子

「あそしあ」に配属となり、早くも半年近くが過ぎました。

初めて福祉の仕事に携わり、戸惑うことが多く学ぶ事ばかりで、毎日あっと言う間に時間が経ってしまいます。これからも利用者さんと関わりを大切に一つひとつ丁寧な仕事ができるよう心がけていきます。

私、歳はそこそこ重ねていますが、仕事面では新人ですので、皆さんご指導の程よろしくお願い致します。

### ●趣味

絵を描いたり、ハンドメイドのアクセサリーを作ったりするのが好きで、時間のある時にたまに・・・な程度で、今はあまり時間が無くても聞くことが出来る音楽鑑賞がメインです。

### ●座右の銘 和顔愛語

# 草刈り奮闘記!!

今回、滋賀県土地開発公社さまから「米原駅東側の広大な所有地の除草作業をしてもらえないか。」というご依頼をいただきました。

お話を伺った時、まず「広さは20,000m<sup>2</sup>!!!!」と聞いて、そのとてつもない広さに想像がつかない状態でした。

相当な広さなので最初、はたしてできるのだろうか?複数の事業所でないと無理なのでは?との考えが一瞬よぎりました。

しかし、蓋を開けてみれば、20,000m<sup>2</sup>のうち草の長い箇所2,200m<sup>2</sup>に限定ということが分かり、“この広さならばできる”と気合を入れてお請けしました。

ただ、作業期間が8月中旬に除草しなければならないこと、また想像以上に暑いこともあり、大丈夫だろうかといった不安も…。しかしながら、従事される利用者さんの方がことのほかタフで、「今日は草刈に行かないの。」と目を輝かせながらの猛アピールがすごい状態でした。

実際、天候不順も続き、せっかく除草したのに、雨が降ったあと続きをやろうと現地に着くと“気持ちいいほどに雑草がすくすく伸びているのを見て”無力感におそれれ、愕然としたりしましたが、他事業所等のご協力もあり、無事期限までに完了することができました。

先方さんからは、「もし来年もこの土地が売れていなかったら、草刈りをお願いできませんか。」と声をかけていただきました。土地が売れて駅前が発展してほしいと思う反面、売れずにまた除草作業を請け負いたいと思ってしまう複雑な心境の今日この頃です。

ワークスさかた 大岩



## 「ぱんげあ」 Autumn Menu

「小倉&クリーム」と「Choi」の  
Bigサイズが期間限定販売です!!



Choi 大盛り  
メープル・くるみつきなこ



Big 小倉&クリーム

11月30日まで開催中

# ドライブレコーダー装着しました！

現在湖北会で配備している公用車は、100台を数えます。その中で主に送迎用に使っているハイエースクラスの15人乗り、10人乗りは41台に達し、毎日の朝夕の送迎、さらには日中活動にフル稼働しています。職員も、普段乗り慣れない大型車に乗ること、また人を乗せての運転になりますので、道路状況には十分気を



付け、日々安全運転に心がけています。ただ、これだけ多くの車両台数になりますと、中には接触事故などの報告を受けることがあります。幸いにもこれまで人身事故に至るようなことはありませんが、少しでも事故防止につなげられるよう願うばかりです。

今回、湖北会では安全運転の啓発も兼ね、各事業所の公用車にまず2台ずつドライブレコーダーを取り付けました。これにより、職員自らの日頃の運転姿勢、マナー等が再認識できるきっかけになればと思います。今後も職員同士で、お互い声を掛け合い安全運転意識の高揚を図ってまいります。



## 赤い羽根 共同募金助成事業

やまぶきでは、従来より身体にしうがいのある利用者の方の中活動を安心・安全に過ごしていただくこと、また介助を行う生活支援員の身体への負担軽減が大きな課題となっていました。

このほど、幸いにも「赤い羽根共同募金」からの助成金交付をいただくことができ、これらの課題解決を行うため、写真にあるとおり床走行(移動式)リフトを導入しました。

利用者も施設職員もともに満足しており、募金をして下さった多くの皆さまの温かい善意に感謝いたし、日々大切に使わせていただきます。



今後湖北会としても、共同募金運動に積極的に参加・活動してまいります。



## 長浜市ビジネスメッセに 参加しました

長浜市では、障がい施設のことをもっと一般に知っていただこうと、しうがい者施設の仕事の内容や請負った仕事のプレゼントと自主製品の販売を兼ねた初の『ビジネスメッセ』が、9月5日に開催されました。湖北会においては、このイベントに4つの事業所が参加しました。プレゼン会場では、たくさんの方が来場され、中には、うちの子が通っているからと一緒にアピールしていただく場面もありました。販売のコーナーでは、持参した商品は、ほぼ完売となり、お昼ごろには商品追加や自主製品あげぱんを用意させていただくほどの大盛況となりました。おかげで、各方面の市民の方々に、事業所自主製品を知っていただくことができて、とてもよかったです。今後、このイベントを契機に、湖北圏域を視野に入れた販売促進のきっかけになることを期待しています。



## 編集後記

秋本番、日本の四季にはそれぞれの良さがありますが、澄み切った空気を感じさせる秋は、美味しいものもいっぱい、私は大好きです。

みなさんは、どんな秋を感じていらっしゃるでしょうか。

今回のこほくかい秋号には、食欲の秋、スポーツの秋、芸術（文化）の秋など、季節を感じていただける内容を、できるだけ多く盛り込ませていただきました。

また、親しみやすくタイムリーな情報を発信していければとの思いを込めて編集いたしました。

こんなところにも湖北会・・・、こんなことにも湖北会・・・と、湖北会の様々な側面を身近に知つていただければ幸いです。

編集委員：ゆるり 服部 美穂